

平成20年5月1日

水戸商工会議所 会頭  
加藤 啓進 様

水戸市長 加藤 浩一  
(広報広聴課扱)

平成20年1月11日あなたから 要望書 をいただきましたことについては、下記のとおりです。

## 中小企業振興策

### 1. 制度融資の利子補給継続について

#### 【回答】

自治金融などの制度融資の利子補給につきましては、厳しい財政事情ではありますが、中小企業の振興を図るため、平成20年度も継続してまいりたいと考えております。

[担当 商工政策課]

### 2. 地元企業への優先発注について

#### 【回答】

ご要望の件につきましては、今後も引き続き努めてまいります。

[担当 契約課]

### 3. 物流効率化と温室効果ガスの削減について

#### 【回答】

水戸市の地球温暖化対策としては、市の事務事業から排出される温室効果ガスの削減等として「市役所エコプラン」を策定して種々の施策に取り組んでおるところですが、水戸市全域における計画策定には至っていない状況にあります。

今後は、水戸市全域での温暖化対策に係る計画を策定していく予定であり、その中で運輸部門における温室効果ガスの削減策を検討してまいりたいと考えております。

又、地球温暖化防止に対する情報発信につきましては、これまでも市報等によりエコドライブの勧めなど啓発してきたところであり、今後も継続してまいります。

〔担当 環境課〕

#### **4. 金融犯罪の防止を図るための広報・情報提供について**

##### **【回答】**

水戸市消費生活センターには、架空請求詐欺等の「振り込め詐欺」の相談が依然としてたくさん寄せられています。このような現状を踏まえて、金融犯罪の被害を未然に防ぐため「広報みと」による周知をはじめとして、出前講座、講演会等において啓発や情報提供を行なっているところでもあります。今後とも引き続き市報や講座等のなかで被害防止に向けた情報提供及び啓発に努めてまいります。

〔担当 市民生活課〕

### **中心市街地活性化策**

#### **1. 中心市街地活性化の促進のための施策実施について**

##### **(1) 中心市街地活性化基本計画の早期策定について**

##### **【回答】**

中心市街地活性化基本計画につきましては、貴会議所において設立準備が進められております中心市街地活性化協議会等の意見をいただくことにより、民意を反映した計画としてまいりたいと考えております。

貴会議所におかれましては、多様な民間主体の参画による事業展開型の協議会を早期に設立し、活性化に向けた幅広い意見の集約や事業の企画・実施に積極的に御尽力くださるようお願いいたします。

〔担当 商工政策課〕

##### **(2) 泉町1丁目北地区再開発の早期推進に向けた取り組み、働きかけ**

##### **【回答】**

泉町地区は、泉町広域拠点の形成を理念に、南地区、北地区、水戸芸術館の3街区における商業・業務・文化機能などの有機的連携を図るため、再開発事業や関連する都市計画道路の整備など、積極的な取り組みを行っているところでもあります。

このうち、南地区については、再開発事業の完成に併せオープンした

京成百貨店を中心として、集客力の大幅な向上とともに新たな賑わいの創出が図られているところであります。

一方、北地区については、平成20年度の都市計画決定を目途に、現在、再開発準備組合において、事業計画の策定と併せ地権者の事業化への合意形成を図っているところでありますが、そのような中、旧水戸京成百貨店の既存建物の一部については、暫定的な活用を図ることとして、本年1月25日に生鮮三品や衣料品などの店舗がリニューアルオープンされたところであります。

いずれにいたしましても、急務の課題となっている旧水戸京成百貨店を含む北地区の再開発事業の早期実現化を図るため、市といたしましても、引き続き、再開発準備組合の活動に対し積極的な支援を行ってまいります。

〔担当 泉町・大工町周辺地区開発事務所〕

### **(3) 行政機能(市民サービス機能)の中心市街地への集約による利便性の向上と県三の丸庁舎及び敷地の有効活用に向けた検討委員会の設置**

#### **【回答】**

本庁舎につきましては、老朽化や狭隘化、さらに耐震化の課題もあるところですが、厳しい財政環境の中でもあり、建て替え等につきましては財源確保等を含め、総合的に検討を進めてまいりたいと考えております。

〔担当 管財課〕

### **(4) 中心市街地における公営有料駐車場の無料開放日の設定**

#### **【回答】**

市営駐車場につきましては、一層の利用促進を図るため、平成19年6月に駐車料金の改定を行い、30分以内の無料駐車や1日の駐車料金の上限額を定めたのをはじめ、月極駐車を導入したところであり、市民の利便性の向上を図ってまいりました。

イベント開催時の無料開放については、どのようなイベントを想定しているか定かではありませんが、イベントの規模により周辺道路の相当な混雑が予想されることがありますので、慎重に検討してまいりたいと考えております。

〔担当 商工政策課〕

## **(5) ワンコインバス(循環型マイクロバス)の運行に関する取り組み**

### **【回答】**

土浦市における循環バスの運行事業は、NPO法人が実施主体となり、タクシー事業者やバス事業者との協定により運営しているもので、行政が財政的な支援を行っている事業となっております。

本市といたしましても、都市交通の円滑化に向けた総合的な研究を行う中で、潜在的な需要や将来の需要予測等に加え、事業の実施主体なども含め、調査、検討してまいりたいと考えております。

〔担当 商工政策課〕

## **(6) 既存総合病院の存続及び新たな医療施設の充実に係る施策展開について**

### **【回答】**

中心市街地の活性化につきましては、多様な機能が集積する活気あふれるまちとしての再生に向け、再開発事業による拠点の形成や商店街の取組、イベント等の事業の支援、都市基盤の整備等を推進することとしており、医療環境につきましても、その充実を図る必要があると認識しております。

そのため、中心市街地に立地する総合病院につきましては、周辺道路の整備を進めるなど、利便性の向上に努めるほか、中心市街地に隣接する医療センター跡地について、民間における医療・福祉施設等の整備の促進を図ってきたところであります。

今後とも、これらとあわせ、関係機関等との連携を図りながら、一層の病診連携を促進するなど、医療環境の充実に努めてまいりたいと考えております。

〔担当 政策企画課〕

## **(7) 中心市街地内の裏通りの整備について**

### **【回答】**

「うら南町通り」（市道上市238号線）は、平成22年度に基本設計を行う予定となっております。また、「旧藤沢小路通り」（市道上市282号線）につきましては、地元町内会等の合意形成が図られていないため、整備計画を作成しておりません。いずれにいたしましても、この2路線は地元住民のご要望や中心市街地の道路整備状況及び市の財政

状況を鑑みながら「歩いて気持ち良い道」の整備を進めてまいりたいと考えております。

[担当 市街地整備課]

## **(8) 中心市街地における買物客のため交通環境の整備について**

### **【回答】**

中心市街地における買物客のための交通環境の整備（駐車帯の設置）につきましては、本市においてこれまで水戸警察署や国土交通省など関係機関と協議を行ってきたところではありますが、現段階においては、交通渋滞の発生や道路構造令などの課題が解決されず、合意形成までには至っていない状況であります。

したがいまして、引き続き関係機関と協議を行うとともに、貴会議所との連携により、新たな方策についても検討してまいりたいと考えております。

[担当 商工政策課]

## **観光都市を目指す基盤整備策**

### **1. 水戸市の史跡や名勝地の保護およびPRの強化について**

#### **(1) 弘道館や偕楽園など後世に残すべき歴史的資産の保存について**

### **【回答】**

弘道館・偕楽園などの歴史的資産は、文化財保護及び世界遺産登録推進のみならず、魅力ある地域づくりの観点からも、史跡の周辺環境を含めた保護措置が不可欠であると認識しております。そのため、世界遺産登録推進にあたっては、関係課で構成されるワーキンググループを設置し、景観保全等の課題について随時検討し、景観保全に努めているところです。

また、世界遺産登録には、水戸の魅力である歴史遺産を大切にし、それを活かし、世界遺産にふさわしいまちづくりをしていくことが重要です。

そのためには、市民及び産・学・官それぞれの立場による、自発的な取り組みが必要不可欠であり、そのような盛り上がりを前提として連絡協議会等を組織し、連携した運動を展開してまいりたいと考えております。

水戸市はこれまで、各メディアでの広報や講演会の開催等により周知

をはかっておりますが、今後も世界遺産登録推進の気運を高めていくため、積極的に周知活動を進めてまいります。各位におかれましても、御支援をお願いいたします。

〔担当 文化振興課〕

## **(2) 市内に数多くある史跡・名勝地のPRについて**

### **【回答】**

史跡・名勝地のPRにつきましては、観光施設等の案内板を計画的に設置し、回遊性の向上と観光客の利便性を確保するとともに、「黄門さまのふるさと水戸」を全国に発信するため、観光協会等との連携を図りながら、各種メディアによるPR活動を積極的に展開してまいります。

〔担当 観光振興課〕

## **2. コンベンションビューロー設立への更なる支援について**

### **【回答】**

コンベンションビューローの設立につきましては、「元気都市・水戸」観光産業振興会議の中で、組織のあり方等について、今後も継続して協議するとともに、「水戸コンベンション推進協議会」の報告を踏まえ、具体化に向けた活動内容、組織形態等の問題や課題を官民一体となって協議・検討してまいります。

〔担当 商工政策課，観光振興課〕

## **3. (仮称) 黄門ミュージアムの中心市街地への早期設置について**

### **【回答】**

中心市街地に隣接した偕楽園，千波湖を中心としたエリアにおいて、観光案内・物産，休憩，食事処等を併せ持つ観光交流拠点として(仮称)新好文茶屋の整備を進めております。

〔担当 観光振興課〕

## **地域活性化に繋がる基盤整備策**

### **1. 道路の整備等について**

#### **(1) 肋骨道路の不足による慢性的な交通渋滞の解消について**

### **【回答】**

都市計画道路3・3・30号赤塚駅水府橋線は、中心市街地の北側を

東西に走り、中心市街地における東西方向の交通を補完する幹線道路であります。

ご要望の肋骨道路については、本路線の機能を活用する上でも有効なものとして認識しております。しかしながら、中心市街地が台地上に立地する地形的制約から適正な勾配が確保できないことなど、新たな取り付け道路の整備には多くの課題もございますので、引き続き検討すべき課題とさせていただきます。

〔担当 建設政策課〕

## **(2) 県道下入野水戸線の道路拡幅について**

### **【回答】**

県道下入野水戸線につきましては、主要地方道水戸神栖線（旧国道6号）から国道6号までの区間を都市計画道路3・3・2号中大野中河内線に振り替えて整備する計画となっております。

現在までに、元吉田町古宿地内から都市計画道路3・3・1号水戸南口停車場線までの930mが平成11年に完成し、さらに都市計画道路3・3・1号線から都市計画道路3・3・16号梅香下千波線（通称桜通り）までの720mについて平成22年の完成予定で整備が進められているところです。

ご要望の、元吉田町古宿地内から国道6号までの区間につきましては、県の事業として、現在整備中の区間の進捗状況を踏まえて整備に着手する予定とのことです。

当該路線につきましては、本市における最重要路線の一つですので、市といたしましても、引き続き整備促進に努めてまいります。

〔担当 建設政策課〕

## **(3) 県道50号水戸神栖線の歩道拡幅について**

### **【回答】**

主要地方道水戸神栖線につきましては、都市計画道路3・3・15号水戸駅平須線として幅員12～27mで都市計画決定されており、順次整備が進められております。水戸市といたしましても、市域を南北に連絡する重要な路線であると認識しており、この整備について要望しているところがございますので、引き続き早期整備について県にはたらきかけてまいります。

〔担当 建設政策課〕

#### **(4) 逆川緑地内歴史広場の進入路拡幅について**

##### **【回答】**

この周辺一帯は逆川緑地として整備され、都市の中の良好な緑地として市民に親しまれております。現在、広場への進入は狭隘な市道しかない状況であり、今後、利用者の利便性の向上、安全対策等について協議・検討してまいりたいと考えております。

〔担当 公園緑地課〕

#### **(5) 笠原地区の複合商業施設計画に伴う環境保全と交通対策について**

##### **【回答】**

笠原地区の複合商業施設計画も含め、大規模小売店舗の立地に当たっては、大規模小売店舗立地法の運用主体である茨城県と密接な連絡をとりながら、本市といたしましても必要な意見を提出し、周辺地域の生活環境の保持に向けた適正な対応に努めてまいります。

〔担当 商工政策課〕

#### **(6) 赤塚駅周辺道路の整備について**

##### **①都市計画道路 3・4・149 赤塚駅西線の早期開通について**

##### **【回答】**

赤塚駅周辺地区においては、常磐線を挟んだ南北地区の一体化を図るため、都市計画道路 3・4・149 号赤塚駅西線をはじめとして都市計画道路 8 路線の整備を進めるなど、鋭意交通体系の確立に取り組んでおります。

ご質問の赤塚駅西線については、国道 50 号から都市計画道路 3・5・32 号河和田飯島線交点（赤塚中学校前）までの全長約 780 m のうち、常磐線南側の約 310 m が整備済みとなっており、残区間については平成 19 年度より用地買収を進めるとともに、JR 常磐線との地下立体交差部の設計を行っております。

さらに、立体交差区間の整備には、一定の期間を要することとなりますが、引き続き早期整備に向けて取り組んでまいります。

〔担当 建設政策課〕

##### **②都市計画道路 3・3・2 中大野中河内線の早期完成について**

##### **【回答】**

都市計画道路 3・3・2 号中大野中河内線は、水戸・勝田都市圏の交通の円滑化と都市機能を強化する骨格的な道路として位置づけられ、ひたちなか市や那珂市と連絡する極めて重要な路線であるため、県と市が相互に事業を分担し整備促進を図っているところであります。

現在の進捗状況としては、全体延長約 16 キロメートルのうち、約 4.5 キロメートルを供用しているところです。

ご要望の幹線市道 21 号線から県道赤塚馬口労線までの姫子工区、延長約 410 m については、平成 20 年度末の完成を目途に事業を進めております。

さらに、県道赤塚馬口労線から国道 50 号に至る松が丘工区についても、平成 10 年度から用地買収を進めております。これまでの事業進捗率は 32 パーセントとなっており、引き続き早期完成に向けて事業に取り組んでまいりますのでご理解願います。

〔担当 建設政策課〕

## **2. 地元商店会及び各種団体への加入促進に関する条例の制定・改定について**

### **【回答】**

商店会及び各種団体への加入促進条例の制定につきましては、その団体の発展を図るため事業者自らが自発的に対象者に働きかけ、加入を促進すべきと認識しておりますが、今後、条例化の効果等について他市の事例を含め調査してまいります。

〔担当 商工政策課〕

## **3. 水戸市が管理する無料駐車場の規制強化について**

### **【回答】**

水戸市の管理する都市公園の無料駐車場に目的外駐車をしている車については、定期的な実態調査と該当車両に対する直接口頭での注意または警告書等の貼紙をするなどして対応しており、改善されてはきていますが、今後とも、巡回などを強化し対応してまいります。

〔担当 公園緑地課〕

## **4. 新川の本格的改修について**

### **【回答】**

新川につきましては、流域面積 5.8 km<sup>2</sup> の一級河川であります。特に市街地である下市地区や浜田地区の雨水排除を担っている重要な河川であることから、これまでも管理する茨城県に対して整備要望を行ってまいりました。

これまでに流路断面を確保するための浚渫や護岸の整備を行っており、また国土交通省において内水排除のポンプを那珂川合流点に設置しております。浸水被害が各地で発生していることから、今後も早期の河川改修を要望してまいりたいと考えております。

〔担当 河川排水整備課〕

(仮称) 東部公園整備につきましては、平成 19 年度用地買収に着手し、今年度は測量と基本設計を行う予定でございます。早期の実現化を図れますよう努めてまいります。

〔担当 公園緑地課〕

## 5. 備前堀を中心とした街の活性化について

### 【回答】

水戸市第 5 次総合計画（平成 17 年 3 月策定）におきましては、「元気都市・水戸」の実現のため、様々な分野におけるにぎわい、交流を創出する拠点づくりに向けた構想としてリーディング・プランを位置付け、その中で、備前堀周辺地区について、「歴史に包まれ、人が憩う」をコンセプトとしながら、地域の歴史性を生かした体験交流拠点の形成を目指しております。

そのため、基幹的施策として、備前堀周辺地区の歴史の紹介や展示、伝統産業等の体験を基本とした歴史文化体験交流施設を整備するほか、関連施策として、寺社、旧跡等をたどるウォーキングルートの設置、地元商店街と歴史的資源との回遊・誘導ルートの整備、伝統工芸等の復興支援、歴史性と調和した景観の形成誘導を図ってまいります。

拠点施設の立地場所につきましては、市営本町駐車場、七軒町児童公園、裡一丁目児童公園、朝日町児童公園なども含めた地域の公共用地全体の配置計画や活用策、さらには、大型バス等の車や人の動線などを総合的に勘案した上で決めてまいりたいと考えております。

〔担当 政策企画課〕

## 6. 県営本1丁目アパートの建て替えについて

### 【回答】

ご要望いただきましたが、県営本1丁目アパートの建て替えにつきましては、これまでも、地元商店街や本町活性化協議会からの建て替え存続の要望を受けとめ、県と継続的な協議を進めてきたところであります。

県においては、解体について区分所有者と合意し、平成20年度に解体の予定であり、その後の計画については現在、未定と伺っておりますが、下市地区の活性化の視点からも、今後とも、現地での建て替え存続について、県と協議を進めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

〔担当 住宅課〕

## 7. 大塚池水質浄化について

### 【回答】

大塚池の水質については、湖沼の環境基準C類型をクリアしているが、良好な水環境になったとは実感しにくい状況であり、渡里幹線水路から大塚池への導水の可能性について、導水量、費用、工法、効果等を含め平成20年度に大塚池公園に関し広く調査をする予定でございます。その調査結果を基に、実施の可能性を含め関係各機関と検討してまいりますと考えております。

〔担当 公園緑地課〕

## 8. 公共の場における環境美化保全について

### 【回答】

水戸市では、ごみのポイ捨てや犬のふん害などを防止するため、平成6年に「水戸市空き缶等のポイ捨て防止に関する条例」、平成8年に「水戸市飼い犬のふん害等の防止に関する条例」を施行して、市民意識の高揚を図り街の環境美化に取り組んでいるところです。

これまで、水戸駅や商店街等において「ポイ捨て防止キャンペーン」を行ってきた他、飼い犬のふんを放置した飼い主に対する指導、啓発用のチラシや看板の配布を行ってきたところです。

これらの取り組みにより、一定程度の効果は見られるようになってきましたが、まだ散乱ごみや放置されたふんが目につくところのご指摘も寄せられております。

したがいまして、今後ともきれいな街づくりを推進していくために継続的に粘り強く市民のモラル向上を訴えてまいりたいと考えております。

〔担当 環境課〕